

[感想文]

北部支部

もとぶ野毛病院 渡慶次 賀輝

今回、平成30年度第2回ネットワーク会議に参加しました。今回は、2年後に開始予定となる新生涯学習システムの詳細や指定規則の改定など興味深い内容の説明がありました。また新しい試みとして管理者に必要な能力とはというテーマを基にグループワークを行い、他の施設や病院のスタッフと話し合いをする事で情報交換や管理者に必要な能力についていろんな視点の意見を聞く事ができ、有意義な機会となりました。

北山病院 國吉 正俊

第2回北部支部ネットワーク会議に参加させていただきました。

北部支部役員として沖縄県理学療法士協会の動きを色々勉強頂き、この数年で大きく変わりつつある現状に少し戸惑いもあります。今回の会議でも説明のあった生涯学習プログラムの変更については、とても興味深い話でした。日々、理学療法士として研鑽をしていく重要性や必要性を聞かせていただき、もっとしっかり勉強していかなければいけないと感じました。

実習指導についての規定も、しっかり定められることで学生にとってもいい実習を過ごすことができると思います。指導する側も学生もお互いが勉強になる実習にしていけるように協力していける実習が出来るようにしたいなと思いました。

これからは、ただ病院でリハビリを行うだけではなく地域や社会、政治の場面でも理学療法士の存在を確立していく必要があると知り、もう少し自分の考えも広げながら協力できることはやっていきたいと思います。

中部支部

浦添総合病院 比嘉誠伍

今回、中部支部ネットワーク会議に参加し、現在の沖縄県理学療法士協会の活動や今後の協会の動向を知ることができました。特に、「新生涯学習システムについて」「臨床実習指導者指定規則改訂」についての情報は、今後も情報収集し、対応していかなければならないと改めて感じる事ができました。後半の「管理者研修会」では、他職場のセラピストとの意見交換を通して、新たな視点を見つける事ができました。

今回の会議に参加することで、とても有意義な時間を過ごす事ができました。次回も参加して、最新の情報収集、活発な意見交換をしていきたいと思いました。

とうま整形外科クリニック 前里幸彦

去る10月23日に中頭病院で開催された中部支部ネットワーク会議に参加させて頂きました。会議では平成30年度事業の進捗状況報告・臨床実習関連の指定規則改定について・新生涯学習システムについて・ネットワーク会議の位置づけなどの説明を受けました。特に臨床実習の規則改定や新生涯学習システムについては、会員一人ひとりに直結することなので、今後の方針を聞いてよかったです。また、「マネジメントする際に管理者に必要な能力・知識」をテーマにグループワークが行われ、とても貴重な交流ができ、職場を管理していく際のヒントを多くもらえました。今後もネットワーク会議に参加して、職場運営に活かしていきたいと思います。

宮古支部

訪問看護ステーションドクターゴン 吉岡裕太

第2回目の宮古ブロックでのネットワーク会議に参加して、協会の現状や活動内容、各部会での取り組みなどを池城会長、城間事務局長の方から説明して頂き、各方面での様々な取り組みがある中で私自身の理学療法士としての資質向上、スキルアップの必要性はもちろんのこと、宮古地区での現状の課題や必要な取り組みについて再確認する事ができました。私個人としてはスポーツ関連事業や地域での介護予防事業などの取り組みに非常に興味があるので、今後積極的にそういった事業に参加しそこで学んだことやスキルを地域に還元していきたいと感じました。その後に行われた会議では、宮古地区における『入退院、入退所持の連携』について事前に行われたアンケート調査をもとに宮古の現状と今後の課題を参加者全員で共有する事ができ、今後宮古地区の会員相互でどういう風に連携をとっていくか具体的に方向性を決めていくことを確認できました。また、最後には協会指定管理者研修会(初級)で実際に行われたグループワークを『マネジメントする際に管理者に必要な能力・知識』をテーマに行い、急性期・回復期チーム、生活期チームの2班に分かれてそれぞれで意見を出し合い活発な意見交換を行えました。沢山の意見を出し合うことでお互いに同じように困っていることや、これまで自分になかった視点などを確認でき非常に刺激になりました。

今後も積極的にこのような場に参加して地域に貢献できる理学療法士であるように努めていきたいと思います。

宮古島徳洲会病院 池原匡

去る10/20、宮古支部では、平成30年度第2回ネットワーク会議を開催し、池城会長、城間事務局長、島内各施設の管理者に来ていただきました。今回の会議では宮古島の連携に対する現状と課題を共有し、管理者に必要な能力・知識というテーマでグループディスカッションができました。今後も各施設間での密な連携を図りシームレスなリハビリテーションの提供が地域包括ケアシステムの構築へ繋がるように支部会員とともに努力していきたいと考えております。

宮古島リハビリ温泉病院 根間 貴士

「支部体制の強化」、前身のブロック懇親会からネットワーク会議へと改め2回目の宮古ブロックでの開催になりますが私は今
公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

回初めて参加しました。会議中、沖縄県理学療法士協会重要施策についての説明があり、その一つに組織運営の体制強化支部活動の推進が取り上げられていました。これは、国全体の施策の流れが県、そして、各自治体へと流れていく中、理学療法士にかかわりのある介護保険法など関連法規もより自治体へと権限が移行されてきました。協会の事業運営についても、今後、協会の事業立案、事業運営などにおいて各支部がこれまでより積極的に係わるような流れにしていきたいという説明が城間事務局長よりありました。

私たち理学療法士が地域(各支部)の中でその職種の必要性を認めてもらうためには協会からの指示を待つのではなく自らが主体的に活動し、理学療法士の認知度を向上させなければならないと思います。そのためには支部体制の強化は必要不可欠であると考えます。重要施策の中にもありましたが、包括ケアシステムの構築に向けた、地域ケア推進リーダー、介護予防推進リーダーの人材育成を含め地域に貢献できる理学療法士の育成、またその周知を図る為には各支部が主体的に活動していくことが重要であることを認識しました。

私たち理学療法士を囲む状況は常に変化しています。その変化に対応する為に、会議の中で池城会長が述べられた魚の目(流れを読む目)を私たち理学療法士は養わなければならないと思います、ネットワーク会議で沖縄県理学療法士協会の理事の方々及各支部が意見交換できる場はとても重要で貴重であり、流れを読む目を作るには良い機会であると考えます。今回この会議に参加してネットワーク会議の必要性と重要性の高さを感じる事が出来ました。この会議に来てくださった、池城会長、城間事務局長ならびに参加した各施設の管理者の皆様へ感謝します。ありがとうございました。

八重山支部

いしがき太陽の里 訪問看護ステーション太陽の里 牧之瀬七恵

今回第2回ネットワーク会議に参加し、協会の取り組みや今後の動きについて共通認識を図ることができました。参加者は少なかったのですが各施設のセラピストが集まりネットワーク会議では支部の運営をさらに良くしたいという会員の想いが感じられました。

現状での問題点や離島だから困っていることなど情報共有し、次年度から取り組めることなど新たな意見もでました。

八重山支部は会員数が少ない中で多くの事業へ取り組みを行っています。支部内での事業をスムーズにより多くの会員に参加していただけるように情報共有方法や支部連絡会議を行っていき、より良い支部活動が図れるように運営していきたいと感じました。

[会議の様子]



北部支部



宮古支部



中部支部



八重山支部



中部支部(中頭病院)



宮古支部(宮古島徳洲会病院)



八重山支部(県立八重山病院)



南部支部(障害者支援施設ソフィア)



北部支部(北部地区医師会病院)

